

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書⑤

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試改革とコロナ禍により先行きが見えず、地元志向が昨年以上に高まった非常に厳しい状況の中、国公立大学への複数合格に留まらず、難関私大や公立看護専門学校への合格、難関企業への複数名の内定等、生徒たちは進学・就職共に素晴らしい成果を上げた。</li> <li>生徒のアンケート結果では、「本校では、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。」が92.3%の支持を、保護者のアンケート結果では、「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」が92.5%と進路実現に向けての「本校指導方針」に対して両者とも高い満足度を得た。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇早期の段階における将来への明確な目標設定とそのための援助 ◇自己の能力や適性を鑑み、生徒の主体的な進路選択の促進 ◇進路目標の達成に向けた確かな学力の育成	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導委員会</li> <li>教育課程委員会</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 進路意識を高め、その実現に向けた進路講演会や体験型各種進路ガイダンスの実施 (2) 全職員体制によるきめ細かな小論文や面接指導の実施 (3) 各種模試や学習支援システムの効果的な運用と、外部専門講師の有機的な活用	(1) ガイダンスに向けた事前・事後指導の後のアンケート調査及び進路希望調査結果。 (2) 各種学校への合格者数や企業への内定者数。 (3) 「到達度テスト」における各分野の理解度の把握、補習への参加状況や生徒の満足度の調査結果。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、ZOOMを用いた自宅でのオンラインガイダンスの実施や、専門外部講師による進路講演会のWEB配信</li> <li>生徒個々の進路設計に向けた、学年毎の系統立った体験型進路ガイダンスの実施</li> <li>進学、看護、就職希望者それぞれに対応した各種外部模試の実施</li> <li>推薦入試に向けた全学年対象の小論文指導と小論文模試の実施</li> <li>総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた全職員体制の指導の充実</li> <li>1, 2年生全員(3年生は希望者)の「スタディサプリ」登録に伴う学年体制での指導。</li> <li>地域創生キャリアプランナーによる専門的な就職支援やZOOMを用いた企業説明会の実施</li> </ul>	① 生徒が自らの在り方や生き方について考えることができたか。 ② 将来に対する目的意識を持つことができたか。 ③ 生徒の実態にあった指導であったか。 ④ 適切な情報提供をすることができたか。	(A) B C D A (B) C D A (B) C D (A) B C D

11 成 果 ・ 課 題	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止により、3年生大学別ガイダンスを取り止めとしたが、夏のオープンキャンパスも殆どの学校で開催されなかったため、三者懇談中にZOOMを用いた自宅でのオンラインガイダンスを実施することで生徒の不安を取り除くよう努めた。</p> <p>○コロナ禍に伴う保護者の不安を軽減させるため、4月より入試に関する情報が入り次第、メールによる配信を休業明けまで続けた。3年生向け進路講話や保護者向け進路講演会は、東京より専門の外部講師を招き、WEB配信を行った。週末に配信することで、例年の倍近い保護者の参加者を得た。</p> <p>○コロナ禍により7月までの外部模試は日程変更を余儀なくされたが、それ以降については、就職から国公立大学志望者に対応できるよう、就職・公務員試験を始め、ベネッセ、河合塾、看護模試等、様々な模試を予定通り実施した。その模試結果を基にWEB版コンパスを活用することで精度の高い指導・助言が可能となった。</p> <p>○昨年度から1, 2年生全員が学習支援システム「スタディサプリ」を活用しており、コロナ休業期間中には授業の補助として大いに役立った。生徒個々の取り組み状況の把握に加えて、「学習到達度テスト結果」を横並びで活用することで学年全体の苦手分野の把握と対策が可能となった。</p> <p>○就職試験が1カ月延期される等、様々な心配があったが、本校常駐の『地域創生キャリアプランナー』による就職関連情報提供、出願書類作成や面接指導等、きめ細かな指導を継続したことで岐阜県警察、JR東海(2名)、J A、日本郵政、イビデン(2名)等、大手企業への内定者を増やした。</p> <p>▲新型コロナウイルス感染予防に伴い、大学入試は選抜方法や配点に変更され全国的に安全志向と地元志向が高まっている。また、全国の総合型選抜の出願者は昨年の40%増とのこと、本校生徒にとっては厳しい状況となった。来年は更に厳しい状況が予想されるが、看護・医療系希望者が多い本校において、その夢の実現を達成できるよう手厚い援助を続けていく必要がある。</p> <p>▲就職についても県内の求人数が30%減となり、他校では不採用となった生徒が例年になく多かったとのこと。本校は高倍率の公務員試験を除き、一般企業の採用は全員内定をいただいているが、今後更に難化が予想される就職試験に対応できるように対策を立てていく必要がある。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価するための「キャリアパスポート」を効果的に活用することで、新たな学習や生活への意識付けや将来を見据えた生き方に繋がるよう工夫していく。</li> <li>・ 地域産業や企業等の理解を深めるキャリア教育の充実を図り、地域創生の担い手となる人材育成にむけて、まずは今年度末に地元企業と ZOOM を使ったガイダンスを予定している。来年度は企業数や対象生徒を増やし、学年全体としての地域の特色や課題に関する情報発信を行っていきたい。</li> <li>・ スタディサプリの運用については、アンケート機能を使った学年統一宅習記録調査の実施、教科毎のスタディサプリ年間計画表の作成、月別の配信数や使用状況の報告、リクルート社講師による教科別・学年別の使用方説明会の実施等、更なる改善を図っていく。</li> <li>・ ベネッセ・河合塾・東進予備校等、進学情報会社の協力をえて、学年別生徒・保護者向け進路説明会の実施や、専門の講師による生徒や教師向けの説明会の実施等、効果的な活用を進める。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月2日

### 【意見・要望・評価等】

- ・ 部活動の先生などと進路に関する相談をし、情報提供を受けているらしい。テスト期間中も、苦手教科の先生が丁寧に教えてくださるので質問しやすいと聞いている。
- ・ 自分の適性認知と将来への目標設定ができるよう今後ますます配慮してもらえるとうれしい。
- ・ 将来的に資格が必要な職業については早い段階から情報を提供していただけるのはありがたい。進学情報や企業情報などの外部機関と連携を取って指導するのは良いことだと思う。
- ・ SNS において、各大学の情報発信や、各企業のホームページにおいて情報はあふれている。生徒のやりたいこと

「目標」を明確にさせることが重要だ。学校の実績も大事だが、中小の企業にも目を向けてもらいたい。大企業では歯車のひとつにすぎない。

- 生徒が中学校の先輩として、中学生に何を話すかを問うと自ずと答えがでるのではないか。
- 「生徒が自らの在り方や生き方について考えることができたか。」の項目において「A」評価が素晴らしいです。何よりも大切なことだと思う。
- 国立大学進学希望者から就職希望者まで、多様な生徒が在籍する中、それぞれのニーズに応じた指導が、丁寧に行われている。より一層大学進学に関する実績を積み上げ、池田高校への志願者が増加することを期待している。
- アンケート結果にあるように、十分な進路情報の提供ならびに対応が素晴らしいと思う。